

都市ごみ焼却灰のエイジングにおける 6価クロム、ホウ素、フッ素の挙動	
Behavior of hexavalent chromium, boron and fluorine in weathering of municipal solid waste incineration bottom ash	
<p>都市ごみの焼却処理によって生じる焼却灰の有効利用方法として、ヤードに焼却灰を数ヶ月野積みにすることによって重金属の溶出量を低減させるエイジングに着目し、これまで報告例が乏しい6価クロム、フッ素、ホウ素について主灰中の挙動を明らかにすることを目的とした。全連続式ストーカタイプの都市ごみ焼却灰で、発生直後に水で急冷したものを実験試料とし、4つの条件下でエイジングを行い、溶出試験、含有量試験、その他各種元素分析からエイジングによる諸効果を調べた。エイジング中にCr溶出量の増加がみられ、これは主灰中のCrが酸化され、溶出率の高いCr⁶⁺になるためと考えられた。また、ホウ素の溶出量が基準値を上回る灰も認められた。</p>	
惣附 博朗	Hiroaki Souzuke
エーキング、焼却灰、炭酸化、6価クロム、フッ素、ホウ素	
Weathering, Bottom ash, Carbonation, Hexavalent chromium, Fluorine, Boron	